



1型のつとい ご報告



2018年4月20日（金）18:00～『1型のつとい in 国立～FreeStyle リブレってなんだ??～』を開催しました。当日はお忙しい中、11名の方に参加していただきました。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

今回のテーマは「FreeStyle リブレ」でした。この機器は2017年9月に保険適用された血糖自己測定器です。指先からの血液を使用した血糖測定だけでなく、専用のセンサーを上腕につけると皮膚の中の間質液中グルコース値を測定することができます。そのセンサーへ読み取り機器をかざすと、グルコース値が表示される仕組みです。指先の血糖自己測定ではわからなかった測定していない時間の血糖値やその間の血糖変動を知ることができます。しかし、万能な機器ではなく、高血糖や低血糖の時には誤差も多く、皮膚のトラブルなども起こすことがあります。この日は実際に使用している方も参加していただいていたので、実物を見たり、触ったり、使用感を聞いたりしました。



また、宮川高一院長より「血糖変動グラフの読み方・考え方」の講義をさせていただきました。事例を見ながら、表示された血糖だけにとらわれず、その結果をどう考え、どう次に活かすかという考え方をお話しました。さらに2018年3月に発売した著書『1型糖尿病をご存じですか?』をご紹介します。



今回はイブニングセミナーということで、nonowa 国立の「LES TROIS ROTONDES」のサンドウィッチをお出ししました。皆で食べながら、カーボ量やインスリン量を考えたり、FreeStyle リブレについて意見交換をしました。また、1型糖尿病の有志団体AWALABOのオリジナルグッズも展示しました。



今回の会は新しい医療機器を紹介する会でした。今後も医療は進み、さらに新しい医療機器や治療方法が出てくると思います。しかし、医療機器や治療方法はまだ発展途上です。全ての人と同じ最新機器を使えば、自分の生活や身体、性格などに合った最適な治療ができる！ということではないような気がしております…。24時間の血糖変動や生活がわかる医療機器をつけることによる行動制限やプライバシーへの配慮も必要なのではないかと思うのです。「自分が自分らしく生きていくため」の医療機器ですので、本末転倒にならないことも大切かと感じます。1型糖尿病の皆さんがご自身の生活や身体、性格にあった治療選択ができるよう、私たちスタッフも支援させていただきたいと思っています。ご意見やご感想、ご希望などあれば、またお聞かせください。

2018年4月28日 みらい国立 看護師 ふくしま